

あ ら ぐ さ



学院長あいさつ

第三十三期生のみなさん戴帽式おめでとうございます。御出席下さいました御来賓の皆様、ご家族の皆様有難うございます。入学して早や半年余りを経た一つの大きな節目の日です。

実行委員会を中心にクラス皆で式を準備する中、いろいろな葛藤や苦労があったはずですが、この日を迎えるために長い時間と大きなエネルギーを使ってきました。しかし、それだけ大きな意義があり、これからの看護学生生活への大きな支えになり、後々の良き思い出となることでしょう。この六カ月余りで皆さんは様々な経験をし、看護や看護学生と云うものが少しわかってきましたね。思っていた以上に大変だと感じている人もたくさんいるでしょう。私たち教職員も皆さん一人一人の力、個性がだいぶん分かってきました。

まだまだこれからです。今日から第二ラウンドが始まります。この日の決意と感動を忘れずにもう一度気を引き締めて明日からの生活に立ち向かって下さい。私たち教職員一同、皆さんが日々成長し、立派に目標を達成できる日を楽しみにして皆さんにとことん付き合っていきます。

最後に「甘くないよ、看護師への道。がんばれよ第三十三期生！」の言葉を添えて御祝いのあいさつとします。

二〇一一年一月二日 学院長 上嶋 准嗣

1年生コーナー

戴帽式

決意をあらたに

「こんなに厳粛な式だとは思っていませんでした。感動しました」「戴帽式に参加できてよかったです。」戴帽式の後の教員との懇談会での御家族の感想です。

共立高等看護学院33期生35名の戴帽式が11月12日に行われました。戴帽式を行う看護学校が減少する中で、共立高看では多くの時間を戴帽式の準備に費やします。入学以降の自分自身を振り返り、かけがえのないクラスの仲間である事を実感し、看護師への道をあらためて決意する節目であるからです。クラスでは33期生らしい戴帽式にするため、悪戦苦闘しながら、色々な人達から助言も得て33期生らしい誓いの言葉を作り上げました。何度ものリハーサルでは、キャンドルの持ち方、歩き方、お辞儀の仕方等を接遇授業の先生の指導を受けながら練習しました。その中で、意見を出し合い、ぶつかり合いながらもクラスとして一



(練習風景)



つになつていくという貴重な経験をしました。式を作り上げる過程で、お互いを認め支えあう大切さを学ぶことができ、クラスとして一歩成長できたのではないかと考えています。

今後後家族や講師、友人、教員や実習先で出会う様々な方々に支えられての学校生活が続きます。思わぬことで周囲を困惑させる事もあるでしょう。しかし、一人一人が未来の看護を切り開いていく人材です。あたたかく見守り、手を貸していただきたいと思います。看護師への道を歩むことの決意をあらたにした33期生を私達職員一同、精一杯応援していきます。

1年担任 中込英利香

2年生コーナー

仲間と力を合わせた
学院祭

共立高等看護学院第34回雑草祭(あらぐささい)が「瞬とき」最高の仲間と最高の時間を」をテーマに9月17日(土)に開催されました。

実行員会の中心は2年生です。実習等で忙しい中、協力して準備しました。クラス発表では、練習を積んだ各学年の生き生きとした歌や踊りで大いに盛り上がりました。原水爆禁止世界大会の報告では、戦争体験者からの貴重なお話を聞いたことで、平和のために一人ひとりが自分の出来ることから始めることの大切さを訴えました。



学生が行う健康チェックや足浴・手浴体験は、お香を焚きリラックスできる雰囲気を作り参加者から喜ばれました。

有休品バザー、美術授業で描いた自画像と講師の作品の展示、本学の活動を紹介した掲示も好評でした。学生の出店、父母の会からの恒例の手作り豚汁、教職員の炊込ご飯等が安く販売され完売しました。



また、学校説明会を行い、高校生等の受験予定者に教員が進路相談や共立高看の説明をしました。学生御家族、近隣の方々、学校見学者等50人余りの来校者の皆様に本学や看護学生への理解を深めて頂くことができました。

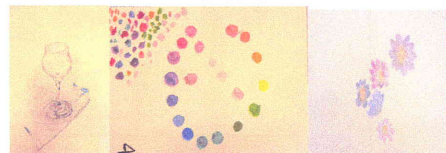
普段の学び場とは一味違った、若者らしい伸びやかな姿と賑わい溢れる1日でした。実行委員会ははじめ学生皆が、集団をまとめていく大変さと集う楽しさや作り上げる充実感を体験した、テーマにふさわしい雑草祭でした。バザーの売上げは心身障害児通園施設いずみ園に寄付します。

自治会担当教員 藤本末央

父母会の皆さんの大鍋手作り豚汁は完売！



手浴やオイルマッサージを学生が行いました。「気持ちいい」と好評でした。



(美術授業習作)

3年生コーナー

感動にあふれた

卒業研究発表会

12月15日
16日

第31期生卒業研究発表会が開催されました。発表されたレポートは、一人一人が患者に真摯に向き合い看護を展開した様子が伺え、その中から自己の看護観を構築することができていました。3年間の集大成として胸を打つものであり、31期生の成長を確認できる場になりました。また、看護によって、その人らしさを引き出し対象がその人らしく過ごし生きていくためには、「患者の立場に立つ」これ無くして看護は始まらないということに確信を持つことができました。このような学生の学びや成長は、実習指導者をはじめとする臨床の皆様の指導があったからであると感謝しています。2日目に行われた、島直紀氏による記念講演では東日本大震災被災地支援における医療者の役割が話され、事実を客観的に見ることができ目を持つことや、医療者としてどのような事が求められているのか等を考える機会となりました。

31期生は、いよいよ国試一色になります。全員合格に向けて全力でサポートしていきたいと考えています。



3年担任 細田江里

卒業研究発表終えて達成感一杯！国家試験頑張るぞ！



「医療者は災害の実態を自らの目でありのまま見つめ、被災者の心に寄り添うことが大切」(記念講演「東日本大震災被災者支援の記録と医療者の役割」島直紀氏(写真上))



父母の会より

- ・ 戴帽式に飯野会長が出席し記念品を贈呈しました。記念品は実習に役立つナースウオッチです。式の記念写真も贈ります。
- ・ 1月には2年生に成人記念・実習激励の品を贈ります。
- ・ 2月に役員会を行います。

学生自治会新役員選出

11月に共立高看学生自治会の役員選挙で5人の新執行部が選出されました。宮脇優太新会長(2年生)は「学生の要望を学校にしっかり伝えたい」と言います。12月の学校との協議会で学校側から学生の要望を提出と諸行事への協力を要請しました。新役員の方々は早速打ち合わせを行う予定です。勉学条件の向上の為に学校と学生自治会は力を合わせます。

看護学生募集



後期一般入試日程
出願：2012年2月20日
～3月6日
試験日：3月10日(土)

国家試験
全員合格

試験日程
本校卒業生：2011年10月15日(土)
1次入試：2011年10月15日(土)
1次入試(前期)：2012年2月20日(土)
1次入試(後期)：2012年3月6日(土)

個性を尊重する
少人数教育

共立高等看護学院 <http://www.kyosei.ac.jp>

12/19~1/9	冬休み(12/30~1/4 閉校日)
12/25~27	スキー実習(保健体育授業)
1/7	一般入試(前期)
1/10~2/17	成人I,成人II,小児II,母性実習(2年生)
2/13~17	期末テスト(1年生)
2/19	第101回 看護師国家試験(3年生)
2/20~3/2	基礎II実習(1年生)
3/1~5	期末テスト(2年生)
3/5~8	統合実習(3年生)
3/10	後期一般入学試験
3/12	卒業式

予 定

3/22 14時~第100回 国家試験合格発表

◇編集後記◇

東日本大震災に引き続いての原発事故と、かつて経験したこともない大惨事に見舞われた2011年も残りあとわずかとなりました。冬休みになっても、国試一色に染まった3年生、苦手な分野の学習克服の為に、自主的、強制的(?)に出てきている1・2年生の賑やかな声が学院内に響いております。

今年も本学院に広範囲の方々から御支援と御協力をいただき、誠にありがとうございました。「患者さんの立場に立った看護師」になろうと一生懸命頑張っている学生の姿を、広く皆様にお伝えし、それぞれのお立場からのエールに繋がれば、との思いから発行した本通信も14回目を迎えました。今後、更に充実した内容を目指したいと思っておりますので、来年度も引き続きの御協力、御愛読の程宜しくお願い申し上げます。御感想、御意見をお寄せ下さい。

編集委員代表 三浦昭子



☆編集委員☆三浦昭子,藤本未央,中込英利香,成島美里,水上和貴